

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-524769 (P2004-524769A)

【公表日】平成 16 年 8 月 12 日 (2004.8.12)

【年通号数】公開・登録公報 2004-031

【出願番号】特願 2002-580632 (P2002-580632)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/445

H 0 4 H 1/00

H 0 4 N 5/76

H 0 4 N 5/907

H 0 4 N 7/025

H 0 4 N 7/03

H 0 4 N 7/035

【F I】

H 0 4 N 5/445 Z

H 0 4 H 1/00 C

H 0 4 N 5/76 B

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 7/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 29 日 (2005.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

テレビジョン又はラジオ番組用の電子番組案内を与えるシステムであって：

現在又は将来の番組のリストを画面に提示する手段；

過去の番組のリストを画面に提示する手段；及び

過去の番組の画面リストに関連して、過去の番組が将来再び利用可能であるか否かを示す手段；

を備えることを特徴とするシステム。

【請求項 2】

過去の番組の後日の利用性を示す前記手段が、過去の番組の画面リスト内で、再放送される番組を強調するよう動作することを特徴とする請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

更に、過去の番組に関するユーザ選択を受信する手段を有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

更に、ユーザ選択に応答して、選択するユーザに対する選択肢を生成する手段より成ることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載のシステム。

【請求項 5】

前記選択肢が記録又は閲覧機能であることを特徴とする請求項 4 記載のシステム。

【請求項 6】

更に、記録機能を選択すると、当該システムが選択された過去の番組の再放送を記録するように自動的に設定されるように動作する手段を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載のシステム。

【請求項 7】

更に、鑑賞機能を選択すると、選択された番組の再放送がなされようとする時に視聴者に知らせるように自動的に設定されるように動作させる手段を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載のシステム。

【請求項 8】

テレビジョン又はラジオ番組に関する電子番組案内を与えるシステムであって：

現在又は将来の番組のリストを画面に提示する手段；

過去の番組のリストを画面に提示する手段；

例えば記録、鑑賞又は視聴である、過去の番組に関連する機能のユーザ選択肢を受信する手段；

過去の番組が再放送されるか否かを見分ける手段、及び過去の番組が再放送される場合に過去の番組に関して選択された機能を起動する手段；

を備えることを特徴とするシステム。

【請求項 9】

過去の番組が再放送されるか否かを見分ける手段が、過去及び将来のリストを探索し、リスト情報の中での一致を判別する手段より成ることを特徴とする請求項 8 記載のシステム。

【請求項 10】

更に、過去の番組の画面リストに関連し、過去の番組が将来再び利用可能であるか否かを示す手段より成ることを特徴とする請求項 8 又は 9 に記載のシステム。